

令和3年度 市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■協働パートナー部門

採択月	団体名	事業名	内容
9月	本業+αプロジェクト	本業+αプロジェクトを通じた地域全体で見守り育てる体制構築事業	<p>【事業目的】</p> <p>超高齢化社会では、課題を抱える市民だけが「当事者」ではなく、市民の誰しもが将来的には介護や育児における孤立、生活困窮、身寄りの問題、認知症など、当事者となる恐れがある。こうした現状で、営利事業者の中に「本業+α」として、経済性と社会性を両立しつつ、市民の社会孤立の是正など公益性が高いと想定される取り組みを既に実施している事業者が増加している。本事業では、「本業+α」に取り組む事業者の掘り起こし、ネットワーキング、質の向上等に資する活動によって、子どもや子育て中の親の孤立防止や居場所づくりの充実に寄与することを目的とする。</p> <p>【主な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者の掘り起こし(+20店舗)、ネットワーキング ・子育て世代やその世代に関わる教育・行政関係者向けのパンフレットの制作 ・本業+αに取り組む事業者と行政機関等のコラボイベント・研修会の実施
9月	一般社団法人アカルカ福祉協会	キラリ☆ポータル（キラリ☆マルシェ）	<p>【事業目的】</p> <p>就労系福祉サービス事業所と利用者の自立をテーマに、障害者就労系事業所を掲載したポータルサイトを立ち上げ、障害当事者や難病当事者とともに一般企業等への講話を実施。そのなかで、就労系事業所と地域や一般企業との接点を設けることで障害者就労に関する理解の促進を目指す。また、障害のある中高生ならびにその保護者へ向けての進路情報の発信の場として活用する。</p> <p>【主な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイトを立ち上げ、就労系事業所について広く一般に知ってもらう機会を作る。 ・特別支援学校での講話、チラシ配布等の啓発活動 ・障害のある当事者とともに企業への講話を行い、障害者雇用の促進や優先調達推進の拡大

令和3年度 市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■かなえるニーズ部門

採択月	団体名	事業名	内容
9月	一般社団法人ゆう悠	なかよしlab.	<p>【事業目的】</p> <p>外部と接点を持ちづらい不登校児童および青少年、またその保護者や家族のために、オンラインツールを利用してコミュニケーションの場を提供。それにより、自分らしく生きることや自己実現を目標に、向上心や生きがいを持って毎日をいきいきと過ごしていけるような個人の意識改革、仲間づくり、居場所づくり、地域コミュニティの構築を実現する。</p> <p>【主な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者および保護者等とのオンライン交流会、講演会 毎月第1土曜日 集客数30人 ・セラピストによるピアノの弾き語り（演奏、ストレス解消法のアドバイスなど） 年2回 集客数30人 ・対面での交流会 年2回 集客数10人
9月	NPO法人栄養ケア・ちっこ	糖尿病と食と生活	<p>【事業目的】</p> <p>国民病と呼ばれるようになった糖尿病の重症化を予防し、健康寿命を延ばす。栄養士がいないクリニックや介護施設等へ通院や通所している患者さんや家族を対象に、糖尿病への理解を深め、食の不安軽減のために講話や調理実習を実施する。</p> <p>【主な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病に関する講話（講師：糖尿病専門医、糖尿病療養指導士） テーマ①高齢者と糖尿病 ②食事と血糖値 集客数各回20人 ・モデル献立の展示、調理実習 ・希望者には個別相談を実施
9月	青峰竹灯ろう祭り保存会	竹灯ろう祭りを通じた多世代交流事業	<p>【事業目的】</p> <p>青峰校区は住民の高齢化、老朽化した公営団地での高齢者の孤立化等の問題、また子どもの減少も進んでいる。そのような中、子どもから地域の方まで、幅広い年代の方々が参加して作り上げる竹灯ろう祭りは、貴重な地域行事となっている。住民同士の交流の場を確保し、青峰の町に元気を取り戻す。</p> <p>【主な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹伐採～竹灯ろう作り ・ろうそく&竹灯ろう作り…地域の方々が講師となり、青峰小・青峰校区の保育園の児童と制作 ・竹灯ろう祭り(11月) 集客者400人
9月	がんサロンちっこ 虹の会	がんサロン	<p>【事業目的】</p> <p>がん患者及びその家族との闘病・社会生活・日常生活を支援するためのがんサロンを開催。医療機関とも連携しながら、がんに関する情報の共有、闘病経験の交流による支え合いを目的とする。</p> <p>【主な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念講演会「がん罹患者への寄り添い方」 集客数100人（*オンラインも検討） ・がんサロン（交流会） 11～3月の第2土曜日 集客数10人/回（*オンラインも検討） ・夜カフェ（がん患者現役世代向けオンライン交流会） 10・12・2月の第3金曜日 集客数6人/回